

# ふれあい

2017

6

No.363

# 牛久愛和綜合病院 広報誌

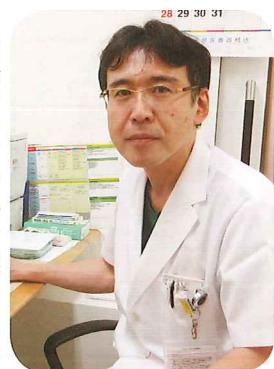


「バラ園」 撮影：薬剤センター 鞠 伸一

## 高齢者の外科治療

### 特任副院長兼外科部長

曾我 直弘



て少し私見をのべさせて戴きます。

私が外科医になった1990年初頭は80歳を超える患者さん、とくに男性の患者さんの手術というと非常に身構えてしまつた覚えがあります。1,990年の男性の平均寿命は75・92歳でした。定年65歳で迎えたら、その後に平均で10年の余命であったというところでしょうか。時を経て2016年の男性の平均寿命は80・5歳です。

私がこの牛久愛和に赴任してきてから10年目になりましたが、この間に手術を施行した患者さんが85歳を超えて元気に通院されている方もたくさんいらっしゃいます。女性は2人に1人は90歳を超えます。今後も確実に平均寿命は伸びていくと考えます。男性85歳、女性90歳まで伸びる日もそう遠くないのではないかと思われます。

ようか。時を経て2016年の男性の平均寿命は80・5歳です。私がこの牛久愛和に赴任してきてから10年目になりましたが、この間に手術を施行した患者さんが85歳を超えて元気に通院されている方もたくさんいらっしゃいます。女性は2人に1人は90歳を超えます。今後も確実に平均寿命は伸びていくと考えます。男性85歳、女性90歳まで伸びる日もそう遠くないのではないかと思われます。

また高齢になれば、認知の問題も複雑に絡んできます。医学的な説明させて戴いても、ご理解いただけないことや、家族との乖離があるケースもあります。一番大切なことは本人の意思ですが、認知症や感情障害がある場合には、本人の希望のみでは、生命の危機を救えなくなります。逆に手術をさせて戴くことが良い選択なのか、判断に迷うケー

いる高齢者の方は概して元気な  
方が多いと感じています。

外科治療は進歩し麻酔を含めた周術期全身管理もより安全になっています。今後日本は未曾有の高齢化社会を歩んでいきます。しかしながら年齢だけで線を引けません。その方に合わせた個別対応が必要です。我々治療に携わる人間はそのことは常に意識しなくてはいけないと考えています。

そして、治療方針を選択決定していくためには、正しい情報、真実をお話しえべきです。癌であること、進行度がどうであるか、考えられる余命など時には厳しくデリケートな問題もありますが、きちんとご説明させて戴かなくてはいけません。画一的に真実を告げなくてはいけないということではありませんが、真実をお話しないよりも、きちんとお話をさせて戴いたほうが心身とも良い状態を保てると考えています。

まな病気を経験します。悪性新生物＝癌は国民の2人に1人は罹患するといわれており、私の専門分野である消化器外科でも高齢の癌患者さんが多数存在します。高齢者の外科治療においては、曆年齢も指標のひとつですが、実年齢と言いましょうか、どれだけ普段お元気であるかが

スも存在します。そのような場合、本人にとつて最も幸せなことは何だろうと考えることが肝要と思っています。ただしこれにつきましては、パターナリズム（父権主義的）に陥る可能性もありますので、医療者側は常に自問自答し注意しなくてはいけません。



## 春秋園だより



本格的な夏を前に、木々の緑が色濃くなつてまいりました。今日は、入所フロアの利用者様と一緒に行つた「外食会」の様子をご紹介します。

当日は晴天で、利用者様は「こんな天気のいい日に外食に行けるなんて嬉しいよ」「お寿司を食べるなんて何年ぶりだろう」と話しながら、ワクワクした様子でした。何を食べようか利用者様同士で話し合いました。

や海老、鉄火巻きを次々に食べられる利用者様や、うな丼をおいしそうに食べる利用者様、いながら車に乗り込み、牛久の「くら寿司」へ向かいました。

店内に入り席に座ると、種類豊富なお寿司を見て皆様目

を輝かせていました。まぐろ

や海老、鉄火巻きを次々に食

べる利用者様や、うな丼をお

いしそうに食べる利用者様、

いながら車に乗り込み、牛久

の「くら寿司」へ向かいました。

利用者様もいました。帰り

の車の中では、「凄くおいしかった」と笑顔で話されていました。

今回は「外食会」を企画しましたが、今後も「散歩」や「買い物ツアーや、利用者様が気分転換になるような企画を行つていきたいと思います。

(春秋園入所スタッフ一同)



## 部署紹介

### 地域連携室

課長 山口 孝司

地域連携室という部署がある事自体まだまだ一般的には知られていないかと思いま

す。「連携」の言葉があるよ

うに私たち地域連携室は、地

域の医療機関の先生方と当院

の架け橋となり、その患者さ

んに適した医療を提供するた

めの窓口となる部署です。例

えば患者さんがかかりつけの

診療所などを受診され、専門

的な検査や治療・入院が必要

と判断され、当院で患者さん

を受け入れる場合の調整を行

っています。同時に当院での

患者さんに對しては、住みな

れた地域で継続した診療を受

けられるよう、かかりつけと

なる先生を探すサポートも行

つています。また高度・専門

的な治療が必要で当院での対

応が難しい患者さんを適した

医療機関に紹介する窓口にも

なつています。この他にも診

療所などへの訪問活動を通し

て、当院の診療科や医療機器の案内を含めた広報活動や、当院と地域の医療機関の先生方とで交流を深める情報交換の場を設ける役割も担つて

います。長々と話してしまいましたが、私たちが行つていい業務を少し知つていただけたでしょうか。これを機に地域連携室の存在を皆さんに少しでも知つていただけると嬉しいです。



## Dr.趣味リレー

**【クラシック音楽鑑賞】**  
形成外科医長 平野 由美  
小学生の時に入つた音楽クラブでバイオリンを始めるこ

とになり、次に弾く課題曲の（昔は）カセットテープを購入して練習していたことから、歌謡曲よりクラシック音楽に馴染みがありました。今はもつぱら好きなクラシック音楽を聴くのが趣味となつています。クラシック音楽のすごいところは、何百年経つても愛されているところでしょうか。

実は長く愛される曲に限つて

音楽の理論に基づいて作曲さ

れていることが多い、初めの

たつた1フレーズで感動させ

るブラームスの交響曲第4番

も、音階の理論で作られたこ

とを知つたときはショックで

した。また同じ曲でも、指揮者やオーケストラでだいぶ演

奏が変わつてきます。好きな演奏を見つけるのも楽しみの一つです。



## 編集だより

梅雨の時期、植物が元気いっぱいです。雨の日ならではの景色もあります。傘を差しての散歩はいかがですか? (T・N)

(牛久愛和健康まつり実行委員長)

5月28日(日)今年で第18回目の『牛久愛和健康まつり』を開催しました。60名超となり、大好評でした。当まりの名物となりつつある



## 第18回牛久愛和健康まつりを開催しました



**病院理念** 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

**病院概要**

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床  
地域包括ケア43床)

**施設**

敷地 59,449.60m<sup>2</sup> 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院  
医療法人社団 常仁会

## 牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地  
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031  
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

**《関連施設》**

|                  |                  |
|------------------|------------------|
| 総合健診センター         | Tel 029-873-4334 |
| 健康増進施設 スポーツリラックス | Tel 029-874-8791 |
| 介護老人保健施設 春秋園     | Tel 029-870-3100 |

**診療科目****【一般外来】**

総合診療科(内科)、消化器内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)、禁煙外来

**【専門外来】**

整形外科(股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)  
小児科(小児循環器、小児心理)  
循環器科(心臓血管外科)  
皮膚科(レーザー)  
外科(そけいヘルニア)  
形成外科(下肢静脈瘤)

